

平成 27 年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

事業名	オープンガーデンによる温もりのあるまちづくり	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	オープンガーデン大網白里「花フレンド」	都市整備課

事業費	当初予算額	決算額	市補助金額（交付決定額）
	469,784円	537,123円	300,000円

【 ①課題 ②目的・効果について 】

次の事項がわかるように、事業概要と成果を記入してください。

- どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、
 ○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施し、
 ○どのような効果が得られたか。 ○住民の満足度は得られたか。

①課題

会員になっているオーナーのモチベーションを保つ活動に重きをおき、鑑賞に来られた方に、毎年訪れたいくなるような庭を公開出来るようにスキルアップを図る。また、沿道など花のボランティア団体の方に協力を呼びかけ、花いっぱい街として、おもてなし出来るようにする。オープンガーデン開催中に撮影した写真を募集し、フォトコンテストを実施し、写真愛好家の方にもオープンガーデンに興味を持ってもらう。

②目的・効果

オープンするためのモチベーションを持続させ、鑑賞に訪れる方が、毎年楽しみに訪れたいくなるような魅力ある庭づくりをするためのスキルアップを図る。また、写真愛好家のためのフォトコンテストを行い、人と人との繋がりを大切にオープンガーデンの輪を広げ、大網白里市がオープンガーデンの街として活性化するように努める。

▼一斉公開日5月16日（土）17日（日）に、バスで全ての庭を巡れるように2コースを設定。市内外に宣伝。2日間で延べ4台、160名乗車、21件の庭を巡る。申し込み者殺到、キャンセル待ちとなる。今後の活動のためのアンケートを実施。

▼各庭の一番見ていただきたい時期に公開日を定め、それぞれで公開（4月29日～5月22日）期間中に鑑賞に訪れた方、延べ人数5000人。

▼鑑賞者の地域をみると、市内からが30%、茂原市、東金市、千葉市で70%。全体的にみると県内からは43市町から、県外は8都県からと、市内外に大網白里市の魅力を発信出来たと思う。

▼フォトコンテストの実施。8月27日～9月1日に中央公民館にて展示、市民に投票してもらう。市長賞・須磨佳津江賞・会長賞・市民賞・佳作3作品を決定、講演会の時に市長にも出席頂き表彰式を行う。

▼須磨佳津江さんの講演会を実施。会員を含め約200名程の方が参加。オープンガーデンの魅力を実感出来た。ベルギーや日本国内のオープンガーデンの情報や庭づくりをするオーナーの様々な人間模様、花を通してのコミュニティの素晴らしさを実感した講演会だった。他の参加者からも、「素晴らしい時間をありがとう」という声があった。

▼バラの講習会。12月と2月の2回、ツルバラの育て方、木立性バラの育て方の勉強会。市民を対象に20名の方が参加。バラは、育てたいと思う人は大勢いるが育て方が難しいという人もいる。具体的に剪定・誘引をする事で育てて見ようという人が増えてきている。今後の会員増に結びつくように期待している。

【 ③企画力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<p>①オープンガーデンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 各庭で、それぞれの個性を活かして公開。各庭に感想を書いてもらうように、ノートを設置。 5月16・17日に一斉公開日を設ける。ガーデン巡りのバスを2コース運行。5月7日チケット販売開始。各バスに案内人を付け、時間通りに進むように配慮。各コースで、アンケート調査を実施。 公開する庭22件。 <p>②周知</p> <p>チラシの作成・回覧依頼・広報紙などの情報提供。</p> <p>③先進地視察 神奈川県大磯町</p> <p>バスのルート・昼食等の手配。参加者の受け付け。</p> <p>④講演会開催 講師への連絡・運営</p> <p>⑤フォトコンテスト実施 募集・展示・各賞の準備</p> <p>⑥バラの講習会の実施</p>	<p>①オープンガーデン一斉公開関係</p> <ul style="list-style-type: none"> チラシ区長回覧依頼 公共施設におけるポスター掲示・チラシ配布依頼。 シャトルバス乗降場所及び来場者駐車場の確保。 <p>②視察研修関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 市バスの予約、申請。 視察先自治体担当者との行程等調整。 視察の同行、補助。 <p>③フォトコンテスト関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 市長出席依頼、市長賞授与関係手続。

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
-----	--------

<input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 公開時に訪れた人数延べ5000人とカウントの数は前年より少ないが、昨年のリピーターの方が記入しなかったり、記帳されずに鑑賞していくなど、正確には数えられなかった。バスの運行はチケットが即日完売となり、人気は衰えていない。鑑賞に訪れる方のマナーは、以前よりは良くなった。先進地の視察も、バスの運行の事や行政との関わり方など、学ぶところが多く、これからの活動につなげる事が出来ると思う。講演会及び表彰式は、市長にも出席していただき、須磨さんのお話に来られた方も満足していた。	<input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 各種イベント開催にあたり、団体と市の役割分担を双方の協議による合意のもと、円滑に進めることができたと考える。
---	--

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
①毎月1回定例会を行う。(必要に応じて臨時会議あり) ・第1水曜日 13:30~15:30 ・28年度公開のためのオーナー説明会 ②オープンガーデン開催(4~6月) ③オープンガーデンバスツアー実施(5月) →チラシ作成 ・ワンコインで各庭を巡るツアー ・一度に20人来ても大丈夫な庭のみのコースを作りバスで巡ります。	①定例会10回、臨時会議は3回実施 ②オープンガーデン開催 公開20件(4月~5月) ③オープンガーデンバスツアー実施 1コース500円でチケット販売、5月7日発売初日に完売した。 アンケート調査を実施 ・2日間の参加者 179名 ・アンケート回答者 155名 (西 71名、東84名) 回答率86% 【1, バスの運行について】 良かった 130名 良くなかった 0名 どちらとも言えない 11名 【2, バスの乗車賃について】 ちょうど良い 139名 高い 1名 どちらとも言えない 6名

- ④フォトコンテストの実施→ちらし作成
- ・27年度実施のオープンガーデンで撮影した写真A4サイズで募集
 - ・市長賞・須磨佳津江賞などユニークな賞を考える。
 - ・須磨佳津江さんの講演会時に発表

【3, 今後バスツアーの実施（協働事業終了後、高くなる可能性がある）】

望む 86名 望まない 24名

金額による 38名

【希望金額】

200円 1名 300円 1名

500円 7名 1000円 33名

3000円以内 1名

【4, 感想】

- ・感動した（きれいな庭に癒やされた手入れがゆき届いていたすばらしい）44名
- ・個人では回れないので、バスは助かる
- ・効率よく回れて良かった
- ・雨でも良かった
- ・植え方を参考にしたい
- ・バスの補助席は使わないでほしい
- ・東コース もう少し時間がほしかった
急ぎすぎでは？
- ・マイクの声が聞き取りにくかった

④フォトコンテストの実施

7月1日応募締切 応募数66作品

8月27日～9月1日中央公民館2階ギャラリー展示、市民による投票

9月2日 開票 賞を決定

・市長賞は市長に、須磨佳津江賞は須磨さんに選定してもらう。

【入賞者】

市長賞 経田 柳 礼子さん

須磨佳津江賞 金谷郷在住 大倉吉治さん

市民賞 東金市在住 松崎真紀さん

会長賞 南飯塚在住 玉木良和さん

佳作 駒込在住 川村初子さん

佳作 みずほ台在住 山形美恵子さん

佳作 東京都在住 志摩 泉さん

・講演会と同時開催で表彰式を行う。市長賞は市長から、須磨佳津江賞は須磨さんから渡していただく。

⑤講演会の実施

- ・須磨佳津江氏講演 「庭から始まる物語」
- ・ベルギーと日本国内の写真を見ながらの

1時間半のお話

チケット 500円 98枚販売

招待者 フォトコンテスト入賞者・ガイドブック広告主などに配布

当日参加者 約200名

・会場内は、会員が寄せ植え講習会で制作したハンギングやコンテナを飾り花フレンドらしく華やかになりました。

▼フォトコンテスト表彰式と講演会のアンケート結果

【問1 今回の講演会を何で知りましたか。】

大網白里市広報 13名

チラシ 2名 シティライフ 1名

読売新聞 1名 知人 44名

フォトコンテスト 1名

【問2 今回フォトコンテストを初めて実施し、表彰式を行いました。来年度も続けた方がいいと思いますか。】

◎続けた方がいい87名

【理由】

- ・花にかかわりたくなった
- ・写真を撮る人も花作りの人も皆いきいきとしている
- ・心がなごむ、いやされる
- ・花が好きだから 3人
- ・愛をもらおうと向上心につながる、はりあいになる 12人
- ・オープンガーデンの良さが多くの方に知ってもらえる 宣伝効果 2人

◎今回限り2名 無回答 2名

【理由】

- ・コンテストの趣旨がわからない。
(家との庭と花とのバランスなのか花の咲き具合か)

【講演会の感想】

- ・照明が暗く人物の顔が良く見えなかった
- ・感動 大網白里市のオープンガーデンが栄えますように、共に市も栄えますように。

- ・わかりやすく元気の出る楽しい話としても良かった（圧倒的多数）
- ・ベルギーのお庭のスケールの大きさにおどろいた、行ってみたくなった 癒やされた。
- ・ふれあいづくりにオープンガーデン 花はいいと思った。
- ・街の活性化に良い。
- ・フォトコンテストの写真を画面で見たかった
- ・無農薬の話し 作り方が知りたかった。
- ・広い事例の紹介 オープンガーデンの考え方、コミュニティとのかかわり方など有意義な話だと思った。
- ・さすがNHK出身声がきれい言葉がきれい。年を重ねてちょっと思い出せない時など自然体がほほえましい感じ。感動しました。良き1日でした。
- ・須磨先生を良く見つけましたね。
- ・素晴らしいトークでした。あつという間の2時間でした。
- ・映像付きが楽しい

⑤他の市町村へ視察（6月頃に実施）

- ・対象者は、オープンガーデンの会員、公開を目指す市民
- ・オープンガーデンの開催や運営の勉強・庭造りの参考に多くの庭を鑑賞、庭造りに対する姿勢を勉強します。（実施は参加費でまかないます）
- ・市バスを利用で、日帰りできる所（神奈川県大磯町を予定）

⑥他の市町村へ視察（6月4日）

視察先 神奈川県大磯町

- ・目的 オープンガーデンの今後の運営、庭造りの学習
- ・参加費 2,500円 保険・昼食代含む
- ・集合 大網白里市中央公民館脇
マリンちゃんバス 7:30迄
- ・日程

大網白里市役所→大磯町商工会→大磯町立図書館→大磯町商工会→県立城山公園→旧吉田茂邸（バラ園）昼食→庭園見学（ガイド案内付き）→オープンガーデン巡り、市内の4件のお庭（それぞれ地区が違うのでバスで移動、徒歩もあり）→大磯町→大網白里市役所

- ・大磯町は都心に近く、交通機関もめぐまれているので、車でまわることはほとんど無く、歩きで十分まわる事が出来

⑥園芸の勉強会

1. 全国のオープンガーデンを網羅している須磨佳津江さんを講師にお願いして、講演会を実施。9月頃。チラシ作成、地区回覧で周知。チケット販売。

7月より 1人500円×200人

2. バラの育て方講習会 定員各30名

・バラの種類ごとに実演講義（無料）

今井邸にて12月・2月に実施

講師 今井登美子

（ローズコンシェルジュ）

⑦オープンガーデンの仲間を増やす

・公開時に勧誘のチラシを配る。

る。

・参考になったこと

I 店先ガーデン、ストリートガーデン、フィールドガーデンなどのオープンスタイル

II 主催は商工会、オープンガーデンのグループ、観光協会であり、町が後援をしている

III エリアを分けてガイドによる案内

⑦バラの講習会開催

1回目 12月9日 参加者 7名

・ツルバラ（クライミングローズ）の剪定と誘引、ばらの樹形について、消毒の仕方

2回目 2月9日 参加者11名

・ブッシュローズ、シュラブローズの剪定、肥料の与え方、ベイサルシュートのピンチについて。

・会員が育てた花苗、バラの苗を配布。大変喜ばれた。

・広報を見て、電話での質問もあり、それにも対応した。

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体

- 適正であった
- 概ね適正であった
- あまり適正でなかった

(理由)

庭づくりの他に、年間の事業も予定通りに行う事が出来ました。実績欄の報告を見ていただければ、十分におわかりいただけると思います。

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

- ・市広報紙やHP等から、オープンガーデンの認知度が高まってきた。「今年はいつから？」と質問され、皆さんが心待ちにされていることは嬉しい限り。ガーデンめぐりのバスも、今年是有料だったが、即日完売となったことから理解出来る。
- ・各自の庭は、一段とレベルアップして来た。何はともあれ「みたい庭」を常に目指さないと長続きしない。見に来る人はシビアだ。今年、見に来る方の範囲が広範囲となり、花の好きな方からの口コミはすごいものがあると感じた。
- ・本事業は年度で区切れないという昨年の反省から、担当課にも理解してもらい、2016年のオープンガーデン事業は、2月からスタートしている。昨年は4月からの広告しか無かったので、今年2月からのチラシを作った。このことで、5月の事の問い合わせも増えている。
- ・近くの園芸店で、最近バラを作り始めた方が多くなりましたというお話に、講習会が功を奏して、今後につながればと思った。

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input checked="" type="checkbox"/> 強化、活性化した <input type="checkbox"/> 概ね強化、活性化した <input type="checkbox"/> あまり強化、活性化しなかった (理由) 会員数が伸びていないとのご指摘もあったが、以前視察した柏市は、人口50万都市で本市の10倍でありながら、公開の庭の数は本市より少なかった。その代わり、市が「かし庭制度」を実施し盛り上げていたので、一概に会員数で比較できないのではないかと思う。数件だが、新しい会員は増えており、公開は出来なくても庭づくりに協力しながら、今後につなげられる兆しは見えている。

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

団 体
担当課からも意見を出してくれるようになり、協働の意味が出てきた。 フォトコンテストの選定や表彰式などでは、市長の協力もいただけ、こちらの活動を充分理解してくれていると感じました。今後も、お互いに意見を出し合いながら、進められる事を望む。
市
市内外の住民に向けて、住民の方々自らが良好な街並みや景観の形成に参画し、オープンガーデンに取り組んでいる先進的な市という印象をPRできていると考える。

また、その協働による効果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 手続き等で手違いがあったが、そこを理解し補ってくれたことで、協働で出来たことがよかったと思う。	<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) PR効果を高めることはできたが、現状ではまだ会員数や協力する個人・事業者の増加に結びついていない。